

令和5年度 営繕工事安全連絡会議（新潟地区）を開催しました

令和5年11月29日、北陸地方整備局において、令和5年度営繕工事安全連絡会議（新潟地区）を開催しました。

工事受注者、工事監理受注者、新潟労働局、営繕部職員の計24人が出席しました。

新潟労働局から「建設工事現場の安全管理」と題して、労働災害の発生状況や事故事例、災害防止対策等の取り組みで留意すべき点について御講話いただきました。

営繕部から、管内における工事事故の発生状況や防止対策に関する情報提供を行い、現場における一層の安全意識向上を呼びかけました。

また、工事受注者から、各現場の安全衛生管理の取り組み事例を紹介していただき、他の現場担当者から質問が出るなど、活発な意見交換ができました。

議題

○講話「建設工事現場の安全管理」（新潟労働局 労働基準部 健康安全課）

○北陸地方整備局からの情報提供（営繕部）

- ・工事事故発生状況及び事故事例
- ・電気事故について
- ・営繕工事の事故防止対策について
- ・石綿対策の規制の強化について
- ・事故速報について

○工事現場における安全衛生管理及び労働災害防止の取り組み紹介

（各工事受注者）



「工事現場における安全衛生管理及び労働災害防止の取組み紹介」における 主な質問内容

(質問) 外部足場で、工夫した点は。

(回答) 防音シートを設置したところ、作業エリアが薄暗く、作業に影響が出ると思い、作業エリアも明るくなる明かり取りシートを部分的に採用しました。

また、昇降場所が、一目でわかるようにシートの色を青色にして目立つようにしました。

(質問) 現場に、外国人労働者が来ることがありますか。

(回答) とび職で、現場に来ることがあります。日本語を書くことが出来る人は少ないが、ほとんどの人が日本語を話すことも、理解することも出来る。出来ない場合は、職長等が対応してくれるので、特に問題は発生しておりません。

(質問) ダンプトラックにおける、過積載防止対策で、工夫した点は。

(回答) 荷台に積載ラインを書いたシールを貼って、過積載になっていないか、一目でわかるようにしました。

また、過積載と思われる場合は、ポータブル重量計を使用し、確認を行いました。

